

世界を知って面白い!

氏 名 : 大久保 幾代

担当教科 : 全教科

時 間 数 : 11時間

学 校 名 : 徳島県立国府支援学校

実践教科 : 生活単元学習、日常生活の指導

対象学年 : 高等部2年2組

人 数 : 6名

【1】単元のテーマ・目標

- ・ラオスの生活文化等を知ることにより、諸外国に興味・関心を持つことができる。
- ・互いの国の共通点や相違点に気づき、外国の文化や人々をよく知ることの楽しさや大切さに気付くことができる。
- ・互いの違いを認め、相手を大切にするとともに、コミュニケーションを図ることの大切さに気付くことができる。

【2】単元の評価規準例

(ア) 関心・意欲・態度	他国について興味・関心を持つことができる。
(イ) 思考・判断・表現	相互理解にはコミュニケーションが大切だということに気付くことができる。
(ウ) 技能	ラオスの食文化に興味を持ち、調理に取り組むことができる。
(エ) 知識・理解	日本と他国の共通点や相違点に気付くことができる。 ラオスの文化や生活様式について理解することができる。

【3】単元設定の理由

<生徒観>

本学級は、障がいの種別や認知発達の程度が様々な6名の生徒で編成されている。本校在籍年数は生徒によって様々で、男子1名は、今年度7月に転入してきたばかりである。転入生は少しずつ本校での生活に慣れ、友だちや教師と楽しく活動することができている。この単元への意欲も高く、転入生が加わったことで学習にもよい雰囲気生まれている。

本学級は明るく、笑いの絶えないクラスである。しかし、感情のコントロールが難しかったり、自分の意思や気持ちを伝えること、相手の気持ちや場の状況を読み取ることが苦手だったりする生徒が多い。日常の些細なことで他学級または他学年の友だちとトラブルになることもあるが、落ち着いて話をすると自分の悪かった点や今後どうすればよいかを理解することができている。

世界の国々に対する関心はあまり高いとは言えず、クラスでは1名だけ家族と海外旅行に行った経験がある。他の生徒は、テレビを見て他国について知ったことを時折話す程度であるが、ラグビーワールドカップの開催や、東京オリンピックの開催が目前に迫っていることから、少しずつ他国に関心を向けつつある。

<教材観>

本単元は、外国の文化や生活の様子に興味や関心を持つとともに、互いの国の違いに気づき、相手を理解するためにはよく知り、コミュニケーションをとることが大切であると気付くことをねらいとしている。ラオスでの実体験をもとに授業を展開する中で、生徒の視点を世界へと向け、興味・関心の幅を広げる。本単元を通して、国際理解にはまず相手〔他国〕を知ること、違いに気付いて受け入れる〔認める〕ことの大切さを知り、世界を

知るっておもしろい、楽しい、と思う気持ちを育てたい。そして、ラオスから学んだことを日常生活に活かし、周りの人とコミュニケーションを図りながら、よりよく生活していこうとする態度を養いたいと考えている。

<指導観>

指導にあたっては、次の点に留意する。

- ・ PowerPoint資料に写真を多く取り入れたり、実物を見せたり等、視覚教材を活用して見たり触ったりする時間を多く取り入れるようにする。
- ・ ラオスの学生と交流したことや現地の方（ホームステイ先、視察先、ガイドさん等）との話を伝える中で、日本との共通点や相違点に気付くことができるようにする。
- ・ 自分が知らないことを知ろうとすることや、相手をよく知るためにコミュニケーションを図ることの大切さに気付き、それを自分の身近な生活に置き換えて考えられるようにする。
- ・ 食文化の紹介や調理の時間を設定することで、授業への意欲を高められるようにする。

【4】展開計画（全11時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1 2	「世界の国について知ろう！」 ・ ラオスについて知ること、外国に興味・関心を持つことができる （領域・教科を合わせた指導：生活単元学習）	○テレビに映し出した PowerPoint 資料を見て、ラオスについて知る ○ラオスクイズに答える ・ 世界地図上での位置、日本からの距離 ・ 国旗 ・ 言語（挨拶の言葉、数の数え方） ・ ラオスの人々の生活（食文化、お金、民族衣装など） ・ 宗教 ・ 振り返りシートを記入する（感想、もっと知りたいと思ったこと）	・ PowerPoint 資料 ・ 世界地図 ・ 振り返りシート ・ シン（腰巻きスカート）
3 4	・ 絵本を通して、世界の子どもの生活に興味・関心を持つことができる ・ 日本と同じところや違うところに気付くことができる ・ 気付いたことを発表することができる （領域・教科を合わせた指導：日常生活の指導 生活単元学習）	○絵本『すごいね！みんなの通学路』の読み聞かせを聞く ・ 気付いたことを発表したり、質問したりする ・ 読み聞かせを聞いて、振り返りシートを記入する（感想、もっと知りたいと思ったこと） ○絵本『はがぬけたらどうするの？』 ・ 絵本内の世界地図を見て、抜けた歯をどうするのか、知りたい国をリクエストする ・ 日本と風習が似ている国や地域、全く違う国や地域があることに気付く	・ 絵本 ・ 振り返りシート ・ 世界地図
5 6	「ラオスの学生と交流したよ」 ・ ラオスの文化に興味・関心を持ったり、学生の考え方や夢について知ったりすることができる ・ 自分たちと同じところや違うところに気付くことができる ・ 外国の人と仲良くなるための方法を考えることができる （領域・教科を合わせた指導：生活単元学習）	○LJI（ラオス－日本センター）における、日本語学習者との交流の様子を PowerPoint 資料で見る ・ ラオスの学生が興味を持っていることを知る ・ 質問に対するラオスの学生の回答から、自分たちとの共通点や相違点に気付く（将来の夢、幸福度など） ・ 休憩時間にいただいた、ラオスのおやつ（ミニ肉まん・ナムワーン）について知る ・ 振り返りシートを記入する（感想、もっと知りたいと思ったこと） ○『きつねとやぎ』（ラオス語と英語の絵本）の読み聞かせを聞く	・ PowerPoint 資料 ・ 世界地図 ・ ラオス語の絵本『きつねとやぎ』 ・ 振り返りシート

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
7 8	「ラオスの食文化を知ろう」 ・ラオスの食文化に興味・関心を持つことができる ・気付いたことを発表することができる (領域・教科を合わせた指導：生活単元学習)	○これまでの学習の振り返りシートから、クラスの生徒がラオスや外国について興味を持っている内容を知る ・食文化への興味・関心が高い(食べてみたい) ○ PowerPoint 資料を見て、ラオスの食文化について知る ・ティップカオ(カオニャオを入れる竹で編んだ入れ物)の使い方 ・日本との食文化の違い ・ラオスの食文化と似ている国があることに気付く ・振り返りシートを記入する(感想、もっと知りたいと思ったこと)	・ PowerPoint 資料 ・ ティップカオ ・ 『旅の指さし会話帳 ラオス編』 ・ 振り返りシート
9	「ナムワーンの作り方を学習しよう」 ・調理に必要な材料や調理器具を考えることができる ・友だちと相談して、調理の役割を決めることができる (領域・教科を合わせた指導：日常生活の指導)	○ナムワーン作りの計画を立てる ・調理に必要な材料、調理器具を考える ・作り方の手順について学習する ・ワークシートに記入する ・材料(ココナッツミルク、タピオカ、かぼちゃ) ・調理グループごとに、調理の役割分担について相談して決める	・ワークシート
10 本時	「ナムワーンを作ろう！」 ・ラオス人のガイドや通訳の方の温かさを知る ・ラオスのデザート作りに興味を持って取り組み、試食することができる ・友だちと協力して調理に取り組むことができる ・他国に対する興味・関心を広げることができる (領域・教科を合わせた指導：生活単元学習)	○ PowerPoint 資料を見て、材料購入のために力を貸してくれた、ラオス人のガイドの方の優しさを知る ○ナムワーンを作ろう ・作り方の復習と役割の確認 ・調理の準備 ・調理 ・試食 ・感想を振り返りシートに記入し、発表する ・片付け	・ PowerPoint 資料 ・ 【資料 1】 ・ 印刷した資料 ・ ナムワーン作りの材料、調理器具 ・ 手順書 ・ 振り返りシート
11	「ラオスで国際協力の仕事に携わる日本人たち」 ・国際協力の仕事について知る ・様々な違いを認め、共に幸せに暮らすために大切なことを考えることができる ・インタビュー動画を見て思ったことを発表することができる (領域・教科を合わせた指導：生活単元学習)	○国際協力とは何か、ラオスで国際協力の仕事に携わっている日本人たちがいることを知る ・ JICA とは ・ラオスでの視察先の様子、そこで活動する日本人 ○現地で働く日本人のインタビュー動画を見る ・現地で働くために必要な力 ・これから自分はどのようなことを心がけて生活していきたいか考える	・ PowerPoint 資料 ・ 動画 ・ 世界地図 ・水道公社で用意してくれたペットボトルの水

【5】本時の展開

過程 時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (3分)	1 始まりのあいさつをする ・通常のあいさつの後、ラオス語であいさつをする 「サバイディー！」 2 今日のめあてと学習内容を知る 3 パワーポイント資料を見る ・振り返りシートから、友だちの感想を知る ・ナムワーン作りの材料購入を助けてくれた人について知る	1 日直に言葉かけをする ・これからの授業への期待感が高まるようにする 2 今日のめあてと学習内容を記入したホワイトボードを見せて確認した後、黒板に掲示する 3 これまでの学習を思い出せるように、印刷した写真資料も掲示する ・ラオス人ガイドさんの優しさ、親切さを伝える ・自分だったら、外国の人に親切にできるか、考えられるようにする	・ホワイトボード ・PowerPoint 資料 ・印刷した資料
展開 (32分)	4 ナムワーンの作り方を復習する ・手順、役割分担 ○調理の準備をする ・手洗い、消毒をする ・エプロン・バンダナを身に付ける ○調理を行う ・タピオカの解凍とあたため ・煮たカボチャのあたため ・ココナッツミルク作り ・混ぜ合わせて紙コップにつぎ分ける ○試食する	4 簡単に作り方を復習し、グループごとに決めた役割分担を確認できるようにする ○全員の机を合わせて、調理の準備を始めるよう言葉かけをする ・黒板近くの長机に、材料と調理器具を並べる ○生徒同士で協力して調理に取り組めるよう見守り、必要に応じて言葉かけを行う ○生徒の表情を見ながら、ナムワーンの味についての感想を尋ねる	・手順書 ・ナムワーン作りの材料、調理器具
まとめ (5分)	5 振り返りシートを書く 6 終わりのあいさつをする （※片付けは休み時間に行う）	5 本時の授業を通して、またはナムワーン作りについての振り返りが書けるように言葉かけをする 6 日直に言葉かけをする	・振り返りシート

【授業実践の様子】



授業の導入部分の様子



ナムワン作り

【6】 本時の振り返り

本学級の生徒にとって、調理実習や校外学習での外食は最も関心の高い活動のうちの一つである。本時のナムワン作りは生徒全員楽しみにしており、学習意欲も高かった。その点において、授業実践後半に調理を設定したことはよかった。

調理は、使用した電子レンジのワット数の都合で温めに時間がかかり、調理時間が大幅に長くなってしまった。最初から本時を2時間の設定で実施していた方が生徒の反応や発言に細かな対応ができ、さらに授業を生徒と一緒に楽しむことができたのではないかなと思うことが反省点である。しかし、作り方自体は簡単で、役割分担を決めていたことや手順書を準備していたことにより、生徒同士でコミュニケーションをとりながら活動に取り組むことができていた。味の好き嫌いはあったものの、最初から苦手意識を持つことなく、全員がラオスのデザート作りに興味をもって取り組み、試食できたことは異文化理解の観点からみてねらいを達成することができたと言える。

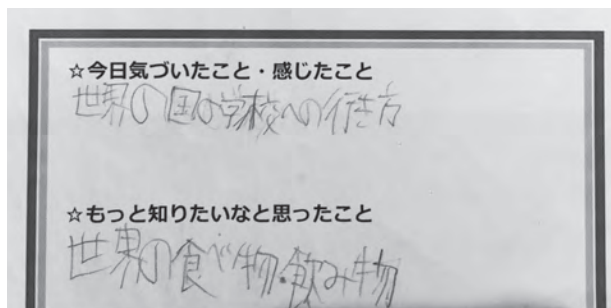
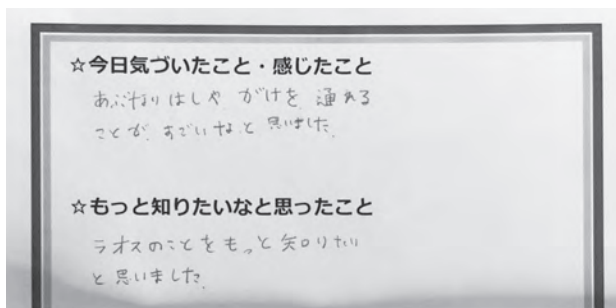
本時は、ただ調理を行って試食することが目的ではなく、ナムワン作りの材料購入を助けてくれたラオス人ガイドさんとのエピソードを伝え、様々な違いをもつ相手〔国、生活習慣等〕を知ろうとすることの大切さ、コミュニケーションをとって理解し合うことの大切さに気付くことをねらいとして実践した。授業後の振り返りシートに、ラオスの人のやさしさについて記入した生徒がいたことから、少しでも授業を通して伝わるものがあったのだとうれしく思った。生徒自身が、学んだことを日常生活に結びつけて行動できるかについては、生徒と共に学びながら今後の様子を見ていきたいと思う。

【7】 単元を通した児童生徒の反応／変化

＜振り返しシートより＞

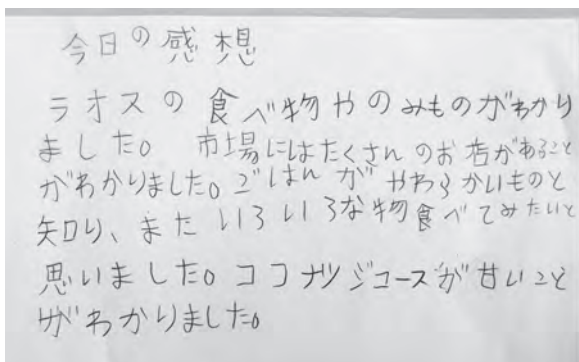
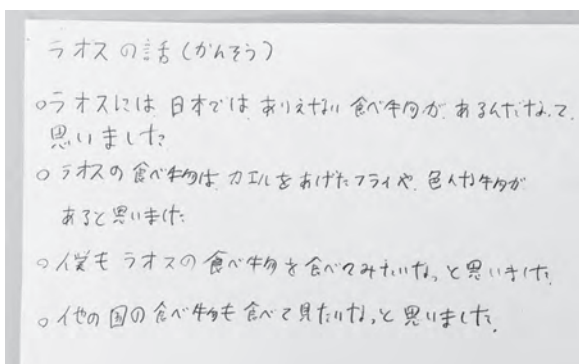
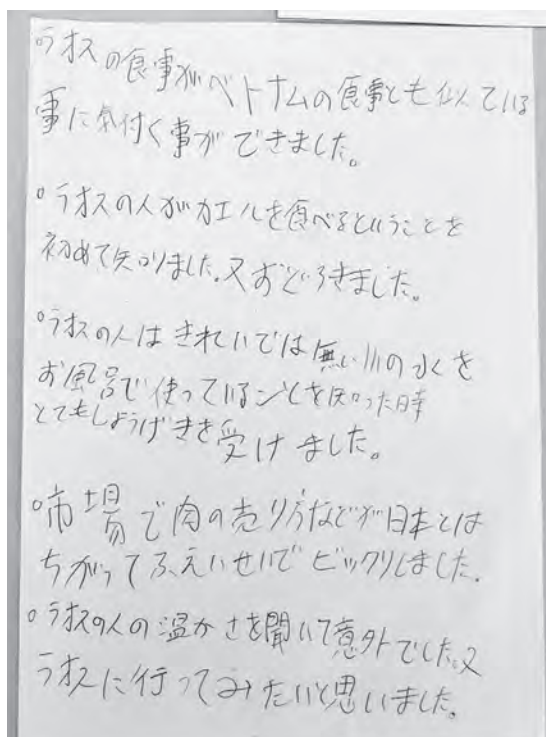
○第3時 絵本『すごいね！みんなの通学路』読み聞かせ

大変興味・関心を持って写真絵本を見ることができた。あまりにも自分たちと違う通学路の様子に驚きの表情を示したり声を上げたりする生徒、質問したいことがあふれてくる生徒など様々であった。後で、掲示していた世界地図で気になった国の位置を確認する場面も見られた。

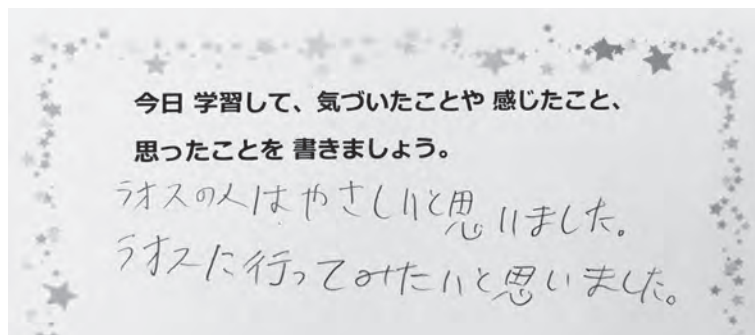


○第7・8時 「ラオスの食文化を知ろう」

初めて知るラオスの食文化に大変興味を示し、様々な感想や意見が活発に飛び交った。「ベトナムにもあった!」「テレビで見たことある!」などラオス近隣諸国との共通点に気付いたり、日本と似ている点や違いなどに気付いて発表したりする生徒もいた。また、カオニャオを入れるティップカオを実際に見せると、おもしろそうに何回もふたを開けたり閉めたりする生徒もいた。



○第10時（本時） 「ナムワーンを作ろう！」



【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

- ・「サバイディー」（ラオス語でこんにちは）を挨拶の言葉としてよく使うようになった。
- ・「〇〇ってラオス語でなんて言うんだろ？」と『旅の指さし会話帳ラオス編』を開き、いろいろな言葉を調べようになった。
- ・ラオス語の絵本『きつねとやぎ』の裏表紙に載っている絵本のシリーズを見て、「次はこれを読みたい」という声が聞かれた。
- ・カレンダーに書かれたラオス語を見て「これなんて読むんですか？」と質問することがあった。
- ・外国の食文化について興味を持つようになった。（「ラオスの肉まんも作ってみたい」「カエルってどんな味がするの？」）
- ・「ラオスの授業は、今度いつあるんですか？」「おもしろいからまたやりたい」という声が聞かれた。

【途上国・異文化への意識の変容】

<授業前>

- ・外国の文化や生活の様子についての興味・関心はあまりみられなかった。
- ・テレビ番組で「世界の果てまでイッテQ！」で見た国の話をすることがあった。
- ・ラグビーワールドカップについてのニュースをテレビで見て、出場国について話をすることがあった。

<授業後>

- ・「ハロー」「ニーハオ」など、知っている外国の挨拶の言葉を言うようになった。
- ・教室に掲示してある世界地図をよく見たり、外国の名前聞いて世界地図で探そうとする姿が見られたりと、少しずつ外国の文化や人々の生活の様子に関心を向けるようになった。
- ・「これってラオスの〇〇と似てる」などと、世界の国との共通点に気付くことができるようになった。

【8】自己評価

1. 苦労した点

生徒の障がい特性や発達段階を踏まえた単元の構成や内容の精選に苦労した。ラオスという国についての知識の伝達ではなく、そこから何を教えるのかということ、ねらいを常に意識した授業作りや発問の仕方等に留意しながら取り組んだ。

2. 改善点

持続可能な開発目標（SDGs）についても取り上げ、生徒の身近な生活に結びつけながら、持続可能な社会や発展について考える授業も展開したいと考えたが、今回の単元に含めることは難しかった。国際理解教育のアイディアやリソースの活用についての知識の必要性を感じた。

教材教具の改善点として、ゲーム形式で食文化についての授業を行ったり、SDGsについて考えたりするような授業が実践できれば、さらに生徒の主体性を引き出すことができたのではないかなと思う。

担任している学級での実践だけでなく、可能な限り学年や他の学級でも授業実践を行うようにする。

3. 成果が出た点

授業実践を重ねるごとに生徒が世界の国々に興味・関心を持ち、文化や生活の違いを楽しんだり理解しようとしたりする態度が見られたことが挙げられる。他の学習においても「やったことないけどやってみよう」と挑戦する姿勢が見られ、「やってみたらできた・おもしろかった」という感想が聞かれるようになった。生徒達の視点が広がりつつあることが大きな成果と言える。

また、年度も後半に入り、生徒間・生徒と教師間の絆も深まりつつある時期であったことも相まって、互いの個性（違い）を認め、温かい言葉でコミュニケーションをとりながら協力できる場面が増えてきた。

4. 備考

今回教師海外研修に参加し、帰国後の授業実践を行う中で、特別支援学校において国際教育・開発教育を行うことの楽しさやおもしろさ、そして新たな可能性を感じることができた。自分がこれまで考えたことのない視点からの授業は苦労もあったが、生徒や他の教師の反応から新たな気づきを得ることが多く、授業作りの楽しさを味わうことができた。また、この経験を広く他の教師に伝え、国際教育・開発教育を推進していくことの大切さも感じた。これも同じ分野に興味をもち、10日間の研修を共にした学びの仲間がいたからこそであると、出逢えた幸せを感じている。この機会を与えてくださった上野校長先生やJICA職員の方々に深く感謝している。

【参考資料】

<書籍>

- ・「すごいね！みんなの通学路」ローズマリー・マカーニー/文 西田佳子/訳
- ・ラオス語絵本「きつねとやぎ」
- ・2018年度JICA中国 教師海外研修 授業実践報告書 ースリランカー

<Webサイト>

- ・ユニバーサルデザイン2020行動計画 ー心のバリアフリーについてー ユニバーサルデザイン関係閣僚会議

ナムワーンを 作ろう！

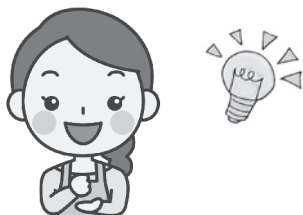
どんな味かな？
Lao Sweets

ナムワーンを知ったのは…



ラオス-日本センターで
日本語を学んでいる学生と
交流したときだった

ラオス滞在中に、先生はひらめいた！



ナムワーンなら
日本でも 作れるかも！？
ぜひ、2組の みんなにも
食べてもらいたい！



そこで、材料をマーケットで
探してみたけれど…

ないっ！！
どこに 売ってるのか
分からない！



そんなとき、頼りになった人は…

先生たちに 同行してくれた
ラオス人 ガイドの
ソンバットさん



一緒に さがしてくれたました
そして、やっと 買えました！



タピオカ



ココナッツミルクパウダー

ラオスの人は とても 親切でした



ラオスの 食べ物を 2組の みんなにも
食べてもらいたいと 思った
もう一つの 理由は…

😊「よく知る」って大切

😊思いこみで 決めつけちゃ
いけない

ナムワーンの 作り方～ふくしゅう～

＜タピオカ＞

- ①電子レンジで 戻した
タピオカを 温める
- ②ざるに あげて 煮汁を
きる



＜ココナッツミルク作り＞

- ①ココナッツミルクパウダ
ーを ボウルに 入れる
- ②計量カップで お湯を
入れる
- ③泡立て器で 軽く 混ぜる



＜かぼちゃ＞

- ①電子レンジで かぼちゃを
温める



タピオカと カボチャを
ボウルに 入れて
混ぜ合わせたら…



ナムワーンの
できあがり!!

